

令和元年度
亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価検証報告書

亀山市

総合政策部政策課

【目次】

1. 評価検証の概要	1
(1) 評価検証の目的	1
(2) 評価検証の流れ	1
(3) 評価検証の具体的な方法	1
2. 総合戦略の評価検証	5
(1) 基本事項	6
(2) 総合戦略全体の評価	7
(3) 基本目標の評価等(検証シート)	8

1. 評価検証の概要

(1) 評価検証の目的

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という。)に位置付けた各施策の更なる推進に向けた課題の改善を図り、より一層高い効果を発揮させることを目的として、評価検証を行う。

また、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証の考え方に基づき、「数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI)」の達成度を確認し、結果重視の検証を行う。

国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」より抜粋

附論 第1章 まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

5. 結果重視

施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善を行う。

(2) 評価検証の流れ

「亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部」での内部検証、外部有識者で構成する「亀山市地方創生会議」での外部検証を行う。また、検証結果については市議会に報告するとともに、市HPで公表する。

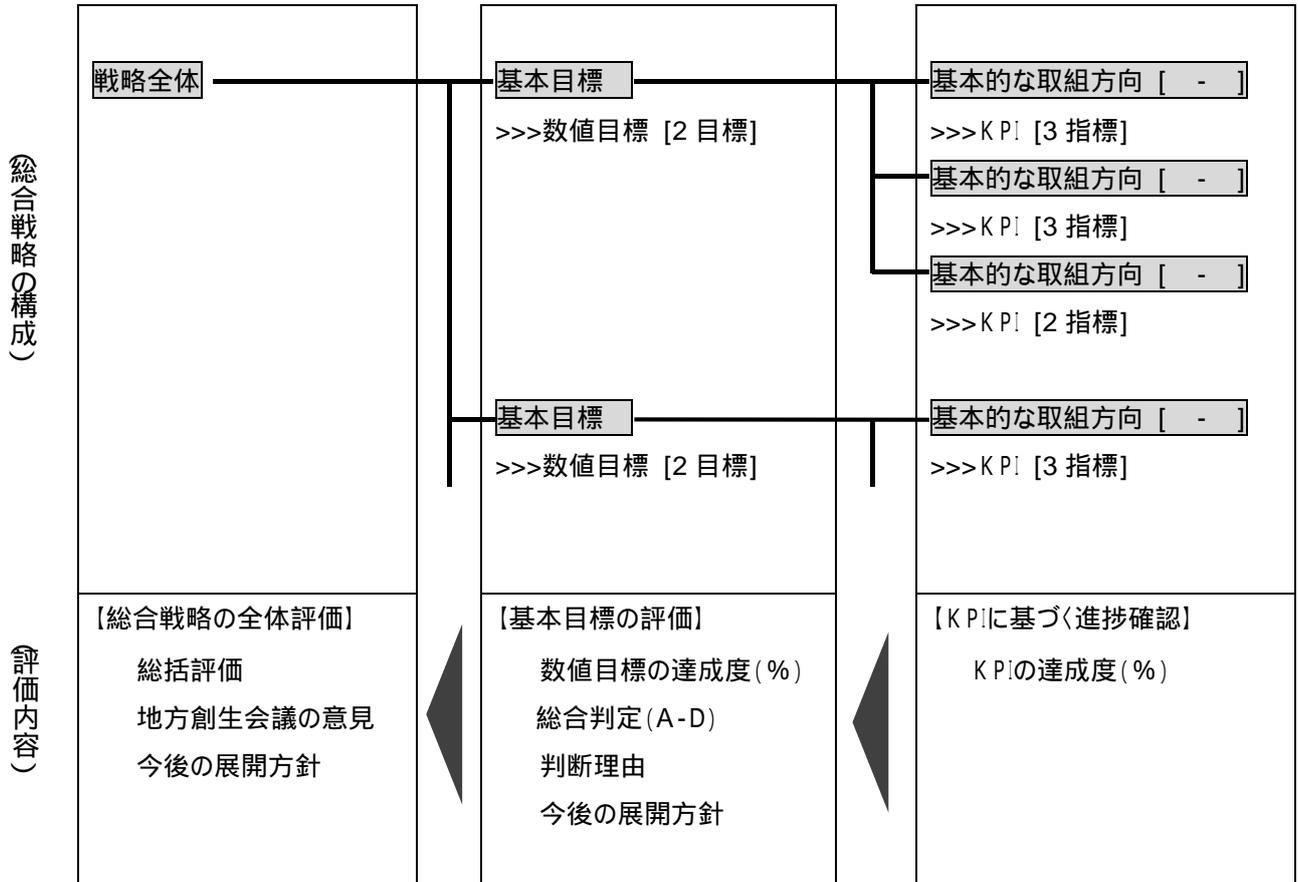
内部検証	亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部
外部検証	亀山市地方創生会議
報告・公表	市議会、市HP

(3) 評価検証の具体的な方法

総合戦略の評価検証は、「総合戦略の全体評価」、「基本目標の評価」及び「基本的な取組方向の進捗確認」で構成する。

なお、検証にあたっては、4つの基本目標毎に設定した「数値目標」、及び10の基本的な取組方向毎に設定した「重要業績成果指標(KPI)」の達成度を確認するとともに、それらの達成状況等に重点を置いて評価する。

- 総合戦略の評価検証(全体イメージ) -



【評価区分及び項目に関する説明】

総合戦略全体

項目	記述内容
(1) 総括評価	「基本目標の評価」を踏まえた戦略全体の総括
(2) 地方創生会議の意見	市の総括評価に対する地方創生会議の意見
(3) 今後の展開方針	「基本目標の評価」及び「地方創生会議の意見」を踏まえた戦略全体の今後の展開方針

基本目標

項目	記述内容
(1) 数値目標の進捗	実績値、達成度
(2) 基本目標の評価	総合判定(A - D)、総合判定の判断理由
(3) 今後の展開方針	評価を踏まえた今後の展開方針

【総合判定区分】

A: 順調に進んだ B: まずまず進んだ C: 少し進んだ D: 進まなかった

【総合判定の基本的な考え方】

原則として、数値目標及び基本的な取組方向毎に設定した「重要業績成果指標(KPI)」の達成度に重点を置き、その他の考慮すべき事項等も勘案して、総合的に判断する。

数値目標及びKPIの達成度について

目標値に対する実績値の達成度合いを確認するため、達成度を算定する。

<達成度の算定方法>

$$\text{達成度}(\%) = \text{実績値} / \text{目標値} \times 100$$

2. 総合戦略の評価検証

(1) 基本事項

戦略の位置付け・目的

本総合戦略は、平成 26 年 11 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に位置づけられる地方版総合戦略として、「亀山市人口ビジョン」と一体的に策定している。

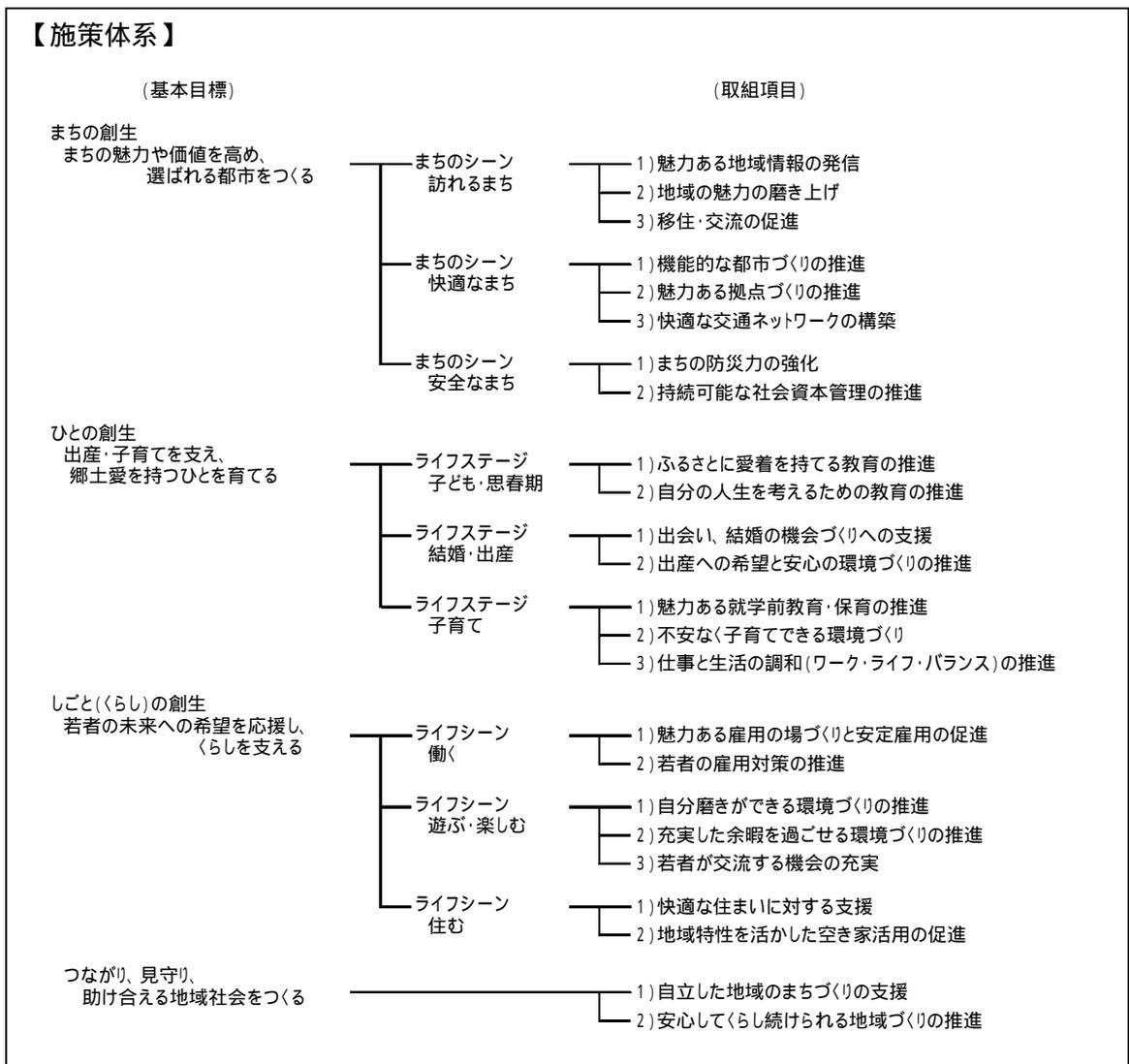
策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び、県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案するとともに、市の最上位計画である総合計画との整合を図っている。

また、第 2 次総合計画との相互の一体性・整合性を向上させ、関連施策の実効性ある推進に繋げるため、計画期間を延長している。

戦略の期間

平成 27 年度から令和 3 年度(令和元年度一部改訂)

戦略の骨格



(2) 総合戦略全体の評価

総括評価

本市の人口は、社会増減は増加傾向にあり、依然として外国人の人口比率は上昇し市内企業の雇用環境等社会情勢の影響を受けつつも、未就学児を中心に転入数は増加傾向にあり、社会増が続いている。一方、出生数は前年度から大きく減少しており、死亡数の増加も受け、自然減が続いている。こうした状況を受け、総人口はほぼ横ばいで推移しており、亀山市人口ビジョンに掲げる概ね5万人を維持しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響も相まって、今後の見通しは不透明な状況にある。

このため、新型コロナウイルス感染症による地域経済や雇用、市民生活への影響を的確に把握し、事業の継続や雇用の確保を進めるとともに、減少傾向にある出生数の動向を注視しつつ、引き続き子育て支援の充実や、都市の価値を高める取組を進め、子育て世帯の定住促進を図っていく必要がある。

なお、地方創生の取組は短期間で効果を発揮するものではないことから、単年度ごとの結果にとらわれることなく、中長期的な展望に立って取り組んでいく必要がある

地方創生会議の意見

出生数が前年度から大きく減少している。全国的に出生数が減少する中、減少傾向は亀山市特有のものではないと推測されるが、その要因を分析し、効果的な子育て支援に繋げていく必要がある。特に保育所の待機児童数は増加傾向にあり、出生数の増(自然減対策)や移住促進(社会減対策)の両面から、子育て・保育環境を充実させ、子育て世代にとって魅力的な環境を整えていく必要がある。

また、JR亀山駅周辺のにぎわい再生や、若者の働く場所・居場所の確保、地域における助け合い・支え合い活動への支援など、まちの魅力や住みよさの向上に向けた一層の取組が必要である。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人々の意識や行動に大きな変化が生じ、地方への関心が高まる中、情報発信や移住支援を一層充実させるとともに、観光振興の在り方を見直すなど、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた取組が求められる。

今後の展開方針

新型コロナウイルス感染症により経済・生活に影響が生じていることから、市内事業所における事業活動の継続や雇用の維持に必要な支援を実施していく。また、出産を希望する人が希望を叶えることができるよう、安心して産み育てられる環境づくりに継続して取り組む。

なお、感染症の拡大に伴い、都市部における感染リスクに対する危機感の高まりやテレワークの普及など、人々の意識・行動に変化がみられ、地方移住に対しても関心が高まっていると考えられることから、アフターコロナを見据え、引き続き本市の魅力を高める取組を継続的に進めつつ、首都圏での情報発信・求心力を強化し、本市への移住を促進していく。

これらの取組の推進と並行して、令和4年度からスタートする第2期市総合戦略の策定に向け、第2次総合計画後期基本計画の策定と併せて一体的な検討を行っていく。

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート(令和元年度)

基本目標	まちの魅力や価値を高め、選ばれる都市をつくる
------	------------------------

数値目標の進捗

項目	現状値	実績値							目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
社会増減数 (転入数 - 転出数) (人)	43	-149	10	376	248	485			357 (H29 -R3)	136%
	(H22 -H26)	(H23 -H27)	(H24 -H28)	(H25 -H29)	(H26 -H30)	(H27 -R1)			357 (H27 -R1)	136%
数値目標の説明	5年間の社会増減の合計									
目標値設定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月改訂の亀山市人口ビジョンの人口展望に基づき、平成27年(4月1日:基準日)から令和2年(3月31日)までの社会増減を5年間の目標として設定 計画期間延長後(令和2年3月改訂)の新たな目標値は、既定の目標値の達成に向け引き続き取り組むこととして設定 									

項目	現状値	実績値							目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
観光入込客数(人)	261,031 (H26)	306,650	241,093	248,902	235,411	213,350			368,000 (R3)	58%
									347,000 (R1)	61%
数値目標の説明	対象施設(歴史博物館、玉屋資料館、道の駅関宿、サンシャインパーク、かぶとの森テラス(旧:名阪森林パーク)および石水溪キャンプ場施設)の観光客数									
目標値設定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度(306,650人)に対して、地域の魅力を磨き上げ発信することで、令和3年度までに市内に來訪する観光客を20%増加させることを目標として設定 計画期間延長後(令和2年3月改訂)の新たな目標値は、第2次総合計画前期基本計画の成果指標と整合 									

基本目標の評価

<p>【判断理由】</p> <p>本市の社会増減数(5ヶ年の合計)は4年連続でプラスで推移し、本年度は目標値を上回る実績値となっている。依然として外国人が増加傾向にあるものの、日本人においても社会増を維持しており、社会的背景の影響を受けつつ、本市が選ばれている状況にある。</p> <p>本市を訪れてもらえるよう積極的なシティプロモーションによる情報発信や、移住相談窓口によるきめ細やかな相談対応を行うとともに、市内環状道路である都市計画道路西丸関線(県道亀山関線・市道野村布気線)が開通するなど、まちの快適性の向上も図れている。</p> <p>一方、観光分野については、観光入込客数の減少傾向に歯止めがかかっておらず、基本目標の総合判定を「B」とした。</p>	総合判定
	B
	まずまず進んだ

今後の展開方針

<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、都市部における地方移住への関心の高まりが見られることから、アフターコロナを見据え、首都圏での情報発信・求心力を強化し、本市への移住を促進していく。</p> <p>また、まちの魅力の向上に向け、本格着手する亀山駅周辺整備の着実な事業推進を図るとともに、木造住宅の耐震化やブロック塀の撤去、自主防災組織の結成や地区防災計画の策定を促進するなど、まちの快適性や安全性を高める取組を進めていく。</p> <p>観光分野については、継続して関宿伝統的建造物群保存地区の保存・整備、さらには文化財の活用を進めるとともに、亀山7座トレイルの整備・活用するなど、本市の魅力である歴史文化と自然を生かした観光振興を進める。</p>
--

重要業績評価指標 (KPI) の進捗

	指標	現状値	実績値							目標値	達成度
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
まちのシーン 訪れるまち	シティプロモーション専用サイトへの訪問者数(年間延べ人数)(人)	- (H27)	-	7,834	36,646	68,115	78,613			100,000 (R3)	79%
											100,000 (R1)
	伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率(%)	55 (H26)	56	56.3	56.5	57.3	58.9			60.0 (R3)	98%
											58.8 (R1)
	移住相談後の移住件数(累計)(件)	- (H27)	-	0	0	4	10			15 (R3)	67%
											15 (R1)
まちのシーン 快適なまち	立地適正化計画の策定	- (H27)	-	計画案の策定	策定	-	-			H29.3	100%
											H29.3
	亀山駅周辺の再生(都市計画決定)	- (H27)	-	未完了	完了 (H30.3)	-	-			H29.3	100%
											H29.3
	都市計画道路の整備率(%)	58 (H26)	58.0	58.0	58.1	61.9	65.1			70 (R3)	93%
											64 (R1)
まちのシーン 安全なまち	自主防災組織の結成率(%)	84 (H27)	84.0	83.1	84.0	82.1	81.4			100 (R3)	81%
											94.6 (R1)
	公共施設等総合管理計画の策定	- (H27)	-	策定	-	-	-			H29.3	100%
											H29.3

目標値・達成度・・・上段:延長後 下段:延長前

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート(令和元年度)

基本目標	出産・子育てを支え、郷土愛を持つひとを育てる
------	------------------------

数値目標の進捗

項目	現状値	実績値							目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
合計特殊出生率	1.58 (H25)	1.47	1.50	1.32	1.55				1.65 (R3)	94%
									1.65 (R1)	94%
数値目標の説明	一人の女性が一生のうちに出産する平均子ども数									
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月改訂の亀山市人口ビジョンの人口展望に基づき、近年の上昇傾向が維持するものとして算定した将来値を目標に設定 計画期間延長後(令和2年3月改訂)の新たな目標値は、これまでの目標値の達成に向け引き続き取り組むこととして設定 									

項目	現状値	実績値							目標値	達成度	
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
若年世代の未婚率(%)	男性 [20-29歳] 65.9 [30-34歳] 44.5 女性 [20-29歳] 48.3 [30-34歳] 24.7 (H22)	男性 [20-29歳] 67.7 [30-34歳] 41.9 女性 [20-29歳] 51.1 [30-34歳] 26.9	令和2年度の国勢調査にて把握							男性 [20-29歳] 64.0 [30-34歳] 40.0 女性 [20-29歳] 45.5 [30-34歳] 24.0 (R2)	93%
									同上	同上	
数値目標の説明	「25～29歳」、「30～34歳」の人口に占める未婚者数の割合										
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 県内で20代後半が8位、30代前半が18位である男性未婚率を上位5位以内、両世代ともに県内4位である女性未婚率を上位3位以内に入る数値として目標を設定。 										

基本目標の評価

<p>【判断理由】</p> <p>将来を担う子どもたちの地域への愛着醸成については、各学校において地域と連携した取組が進められるなど、アンケート結果は概ね良好に推移している。</p> <p>一方、子育て関連において、放課後児童クラブについては民間活力を活用しつつ受け皿整備を行い待機児童ゼロを維持したものの、未就学児においては保育所の待機児童数が増加傾向にあり、そのニーズに対応することができていない。</p> <p>平成30年の本市の合計特殊出生率は1.55と平成29年から大幅に上昇したものの、令和元年度の出生数が前年度比で約70人減となり、KPIの目標値を大きく下回っている。このことから、令和元年の合計特殊出生率も同様に低下し、目標値を大きく下回ることが想定されることから、基本目標の総合判定を「C」とした。</p>	<p>総合判定</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">C</p> <p>少し進んだ</p>
--	---

今後の展開方針

<p>出産・子育ての希望が叶えることができるよう、保育環境の充実やワーク・ライフ・バランスの推進など、男女ともに安心して育児と仕事ができる環境整備を引き続き進める。</p> <p>特に、近年の女性の社会進出や共働き家庭の増加に加え幼児教育・保育の無償化等により保育ニーズが高まり、低年齢児(0歳～2歳)の待機児童が発生していることから、小規模保育事業施設や待機児童館を活用した待機児童の解消に努める。</p> <p>放課後児童クラブについては、利用ニーズを適切に把握し、長期休暇対応を含め民間の力も活用しながら待機児童を発生させないよう受入機能を確保していく。</p>
--

重要業績評価指標 (KPI) の進捗

	指標	現状値	実績値							目標値	達成度
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
ライフステージ 子ども・思春期	全国学力学習状況調査において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答する児童生徒の割合 (%)	小6:32.6 中3:30.0 (H27)	[小6] 32.6 [中3] 30.0	-	[小6] 34.7 [中3] 28.1	[小6] 31.1 [中3] 37.3	[小6] 44.9 [中3] 43.2			小6:51.0 中3:48.0 (R3)	89%
	高等学校等と連携した取組事案件数(累計)(件)	- (H27)	-	0	4	11	16			25 (R3)	64%
	職場体験学習生徒アンケートにおいて「あなたにとって進路や将来について考える機会になった」という肯定的な意見の割合 (%)	82 (H27)	-	83	88	92	85			90 (R3)	94%
										85 (R1)	100%
ライフステージ 結婚・出産	婚活支援事業により出会いを得た人数(累計)(人)	- (H27)	-	61	115	200	249			500 (R3)	50%
	年間出生数(人)	458 (H26)	430	414	371	411	343			500 (R1)	50%
										465 (R3)	74%
										475 (R1)	72%
ライフステージ 子育て	「せいかつちゃれんじシート」に取り組んだ家庭の割合 (%)	62 (H26)	64	59	68	56	58			80 (R3)	73%
	保育所・放課後児童クラブの待機児童数(毎年4月1日)(人)	[保育所] 9 [放課後] 0 (H27)	[保] 9 [放] 0	[保] 6 [放] 0	[保] 3 [放] 0	[保] 6 [放] 0	[保]15 [放] 0			80 (R1)	73%
	男性の育児休業取得に積極的に取り組む事業所への支援策の構築	- (H27)	-	検討中	検討中	検討中	検討中			0 (R3)	-67%
									0 (R1)	-67%	
									R3.3	0%	
									H28.12	0%	

目標値・達成度・・・上段:延長後 下段:延長前

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート(令和元年度)

基本目標	若者の未来への希望を応援し、暮らしを支える
------	-----------------------

数値目標の進捗

項目	現状値	実績値							目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
若者の定住意向 ('ずっと住みたい'、 'できれば住みたい'と回答する20歳代 以下および30歳代の市民の割合)(%)	73.5 (H27)	73.5	-	-	79.7	-			80.0 (R2)	100%
									75.0 (H30)	106%
数値目標の説明	「ずっと住みたい」、「できれば住みたい」と回答する「20歳代以下」および「30歳代」の市民の割合									
目標値設定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 64.8%となっている「20歳代以下」の定住意向を70%にまで引き上げ、若者世代(30歳代以下)の定住意向を75%とすることを目標に設定 計画期間延長後(令和2年3月改訂)の新たな目標値は、高い定住意向を維持することを目標として設定 									

項目	現状値	実績値							目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
数値目標の説明										
目標値設定 の考え方										

基本目標の評価

<p>【判断理由】</p> <p>令和元年度は、民間工業団地の環境整備として工業用水道の布設工事を行い、今後の企業立地の環境整備が進んでおり、令和元年度に新たな企業立地はないものの、令和2年度の操業に向け2社が着工しており、今後、新たな雇用が期待できる。</p> <p>また、新たに創設した住宅取得支援制度の運用を開始し、子育て世帯を中心とした市内定住を促進できたとともに、三重とこわか国体の開催に合わせて、西野公園の運動施設や公園施設の改修を行い、充実した余暇を過ごせる環境づくりが進むなど、若者が暮らしやすいまちづくりが推進できていることから、基本目標の総合判定を「A」とした。</p>	総合判定
	A
	順調に進んだ

今後の展開方針

<p>県や産業団地の開発主体等と連携し、立地検討企業の把握やスピード感を持った対応に努めるとともに、産業振興奨励制度や本市の立地特性を効果的に情報発信し、幅広い業種の企業を誘致していく。</p> <p>雇用に関しては、雇用・経済情勢を見極めながら、亀山市雇用対策協議会、ハローワークや商工会議所などの関係機関等と連携して一体的な支援を行うとともに、企業や労働団体など関係機関と情報交換を行い、雇用の確保につなげる。</p> <p>また、住まいについては住宅取得支援制度により引き続き支援を行うとともに、空家情報バンクの登録件数の増加に向けた取組を進めるなど、子育て世帯が住みやすい環境づくりを進める。</p>
--

重要業績評価指標 (KPI) の進捗

	指標	現状値	実績値							目標値	達成度
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
ライフ シ ー ン 働 く	企業立地件数 (累計) (件)	2 (H27)	2	4	4	5	5			10 (R3)	50%
										6 (R1)	83%
	奨学資金等に対する 支援制度の構築	- (27年度)	-	検討	関連支援 制度を構 築	-	-			H28.12	100%
									H28.12	100%	
ライフ シ ー ン 遊 ぶ ・ 楽 し む	公民館講座、行政出 前講座の直近3年間 の受講者数の平均 (年間延べ人数) (人)	23,165 (H24 -H26)	24,103 (H25 -H27)	24,615 (H26 -H28)	22,468 (H27 -H29)	21,417 (H28 -H30)	23,130 (H29 -R1)			27,400 (R1 -R3)	84%
										26,500 (H29 -R1)	87%
	市内運動施設の年 間利用率 (%)	74.6 (H26)	72.0	71.9	72.1	74.1	75.6			78.0 (R3)	97%
										76.0 (R1)	99%
(仮称)若者交流推 進会議の登録者数 (累計) (人)	- (H27)	-	35	43	50	56			60 (R3)	93%	
									50 (R1)	112%	
ライフ シ ー ン 住 む	若者世帯向け住宅取 得支援制度の構築	- (H27)	-	検討	関連支援 制度を構 築	住宅取得 支援制度 を構築	-			H28.12	100%
										H28.12	100%
	空き家情報バンク登 録物件の契約成立 数(累計) (人)	4 (H27)	4	8	9	11	14			30 (R3)	47%
									21 (R1)	67%	

目標値・達成度・・・上段:延長後 下段:延長前

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート(令和元年度)

基本目標	つながり、見守り、助けあえる地域社会をつくる
------	------------------------

数値目標の進捗

項目	現状値	実績値							目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
まちの住みよさ ('住みやすい'、'どちらかと言えば住みやすい'と回答した市民の割合)(%)	72.9 (H27)	72.9	-	-	70.0	-			78.5 (R2)	-
数値目標の説明	'住みやすい'、'どちらかと言えば住みやすい'と回答した市民の割合									
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 現在の調査で、'どちらとも言えない'と回答した市民(17.2%)のうち、3分の1の市民が住みやすいと回答することを目標に設定 計画期間延長後(令和2年3月改訂)の新たな目標値は、高い定住意向を維持することを目標として設定 									

項目	現状値	実績値							目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
数値目標の説明										
目標値設定の考え方										

基本目標の評価

<p>【判断理由】</p> <p>全ての地域まちづくり協議会において地域まちづくり計画の策定が完了しており、地域予算の交付による財政的支援やアドバイザー派遣等の人的支援、コミュニティ・ソーシャル・ワーカーによる助け合い・支え合いの仕組みづくりへの支援を行い、地域まちづくり協議会の自立した地域まちづくりを促進することができている。</p> <p>その一方で、市民の健康づくりへの支援については、健康づくりの情報を掲載した「健康づくりの手引き」の全戸配布や、市独自の健康マイレージ制度による活動促進など、様々な取組を行ったが、地域での健康づくり活動の定着を担う「健康づくり応援隊養成講座の修了者」の拡大がなかったことから、基本目標の総合判定を「B」とした。</p>	<p>総合判定</p> <p>B</p> <p>まずまず進んだ</p>
---	--

今後の展開方針

<p>地域まちづくり協議会による自立した地域まちづくり活動の促進に向けて、引き続き、担い手の発掘・育成を目的とした研修を行うとともに、アドバイザー派遣や地域予算制度による財政的な支援等を行い、それぞれの地域まちづくり計画に基づいた主体的な活動が市全域で展開されるよう取り組んでいく。</p> <p>健康づくりについては、健康マイレージ事業を中心に個人での健康づくり活動を促進するとともに、健康づくり応援隊の養成を推進し、地域における健康づくり活動を促進する。</p> <p>また、アフターコロナとして、地域医療学講座の医師から助言を受けつつ、保健師や食生活改善推進協議会の栄養士など多様な主体により、免疫力向上や健康に良い運動、体操、食事などを協議し、市民へ健康づくりメニューを立案していく。</p>
--

